



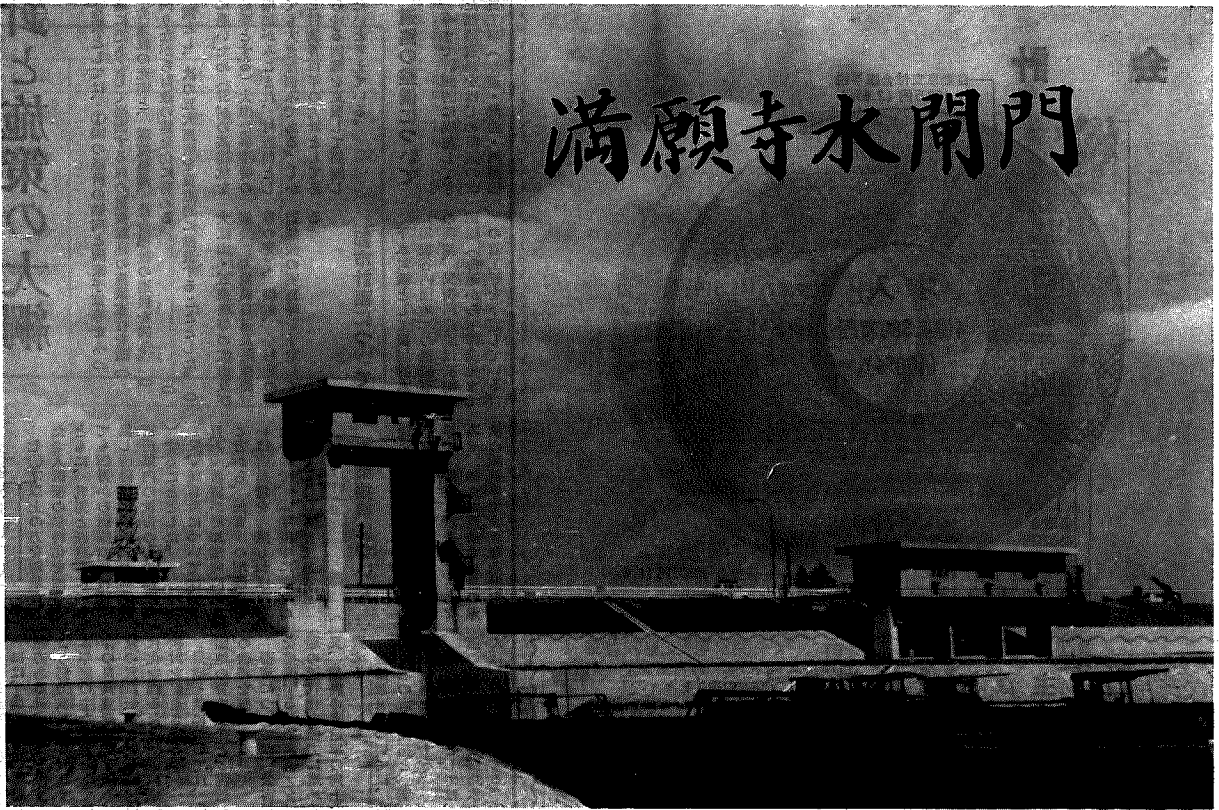
横越村

# よこし

### — おもな内容 —

1. 防ごう子どもの水死事故 (P1)
2. 今年度予算はこのように (P2,3)
3. 二本木に大型防除機が導入 (P3)
4. 青年の船愛好を深めて帰国 (P4)
5. 民具類のご寄贈願 (P4)
6. ひ ろ ば (P4)

## 満願寺水閘門



## 防ごう子どもの水死事故

子どもを水から守る



### 県内年令別水死事故

年令	45年	46年	47年
0歳~5歳	39	42	48
6歳~11歳	24	20	15
12歳~15歳	8	8	8
16歳~20歳	6	9	6
20歳以上	44	41	51
計	124	126	128

これから田植期、そして暑い夏を迎え、木の季節がやってきます。「子どもと水」とは、切っても切りはなせない関係にあります。例年この時期になると、子どものいたましい水死事故があとをたない現状です。本村においても、すでに今年三月二十一日小阿賀水門で浜海小学校三年の女子が水遊びをしていこうと、あやまって転落、死亡するという事故がありました。つい先程まで元気に遊んでいたのに、ほんのちよっと目を離したふと変わらぬ姿になってしまったなど、親の不注意から子どもを大事故に至らせることが少なくありません。

**親の不注意が  
大事をまねく**

### 幼児の場所別水死事故 (県警本部調)

場所	浴槽	庭池	池・沼	用水網	河川	海	その他	計
45年	6	4	3	12	7		3	39
46年	9		10	3	10	5	2	42
47年	6		3	7	3		1	48

別表のように本県の水死事故は、〇才から五才までの幼児に多いこと。しかもその大半が保護者等の不注意によっておこされたものが多い。事故場所も、家の周辺の用水網とか庭池、浴槽などに多いことです。子どもを水から守るために、家庭はもちろん、地域のみなさんが十分注意を払っていただきたき、水の運送から可愛いい子どもを守って一人の犠牲者もたさないよう心がけてほしいものです。

お隣の新潟市では先般四十万人を越えたといわれて、そのためのいろいろなお祭りの行事が行われたことが新聞紙上で報道されています。新潟市に隣接している長岡市、亀田町、黒埼町など人口増加の傾向が強いようです。同じく新潟市に近接している横越村が漸次しているのは、いろいろの原因があるにしても、村の発展から見ると嬉しい気が致します。

然し、今後、人口増加の要因も充分考えられます。住宅団地の造成、工場の新設などそれに伴う人口の増加と、数年の間に考えられ、その時期には又人口がもたらしていることが予想されます。このような都市化の傾向は、位置的に見て新潟市から横越の地にある横越村として顕著な勢を帯びてくるものと思われま。

（四七）

### 移り住む

三月末の統計によると、横越村の人口が八千人をわって七、九七六人になりました。前月末にくらべると、八、〇二二人から三六八人減少したことになります。三月は、中、高校の卒業生たちが就職や進学のために他町村や県外へ転出して、人口が減少したのだと思えます。今まで横越村で人口が増えたのは、昭和三十年一月一日現在の九、五五〇人でありました。その時はベビーブームの末期で、村人口も最高を示したものでしょう。それ以後漸減して八千人代となり、三月末にはとうとう七千人代になってしまいました。お隣の新潟市では先般四十万人を越えたといわれて、そのためのいろいろなお祭りの行事が行われたことが新聞紙上で報道されています。新潟市に隣接している長岡市、亀田町、黒埼町など人口増加の傾向が強いようです。同じく新潟市に近接している横越村が漸次しているのは、いろいろの原因があるにしても、村の発展から見ると嬉しい気が致します。

（四七）